

## (工学研究科)

奨学金（財団）名称	公益財団法人 KDDI 財団「2027 年度外国人留学生助成」	
推薦数	工学研究科より 1 名	
応募資格	専門分野	法律、政治、経済、社会、文化、技術、医療の各分野において、情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究に取り組んでいる者。 ※今回から医療分野も追加
	課程・年次	博士前期課程及び博士後期課程に在籍する私費外国人留学生 (在留資格「留学」)
	国籍・地域	別紙〈対象国籍〉記載国の国籍を有する者
	日本語能力	指定なし
	その他財団が求める資格・要件	<ul style="list-style-type: none"><li>・2027 年 4 月 1 日現在 35 才以下である者</li><li>・申込時および助成期間中を通して、博士前期課程または後期課程に正規学生として在籍する者。</li><li>・他の奨学金との併給は可能だが、その場合、月の合計金額が 10 万円を超えない額とする。</li><li>・ただし、学内奨学金および LEAP プログラムは、金額に関わらず併給可。授業料免除申請も可</li></ul>
奨学金額・期間	月額 10 万円 2027 年 4 月から 6 カ月又は 12 か月 ※ただし、他の期間から奨学金、学費・生活費の援助を目的とする助成金、給与等を受給する者について、その援助額と当財団からの助成額の月額の合計が上記の額を超えないように調整される。	
応募書類 (必要書類)	<ol style="list-style-type: none"><li>① 「Application Form_1」 (所定 Word 様式)</li><li>② 「Application Form_2」 (所定 Word 様式)</li><li>③ 「指導教授推薦書」 (所定 Excel 様式)</li><li>④ 在学証明書</li><li>⑤ 成績証明書：学士課程以降、直近のものまで (写し可) ※別紙の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入願います。</li><li>⑥ 在留カードの写し (両面)</li><li>⑦ 経済状況調書 (所定 Excel 様式)</li><li>⑧ 民間奨学金申請時の心得について (所定用紙)</li><li>⑨ 私費外国人身上調書 (所定用紙)</li><li>⑩ 家計状況調書 (所定用紙)</li></ol>	
提出方法	① は word ファイル、②～⑩は PDF データにてメール添付で提出。	
注意点	他の奨学金や LEAP プログラムを受給中または申請中の場合は、申請書の「Application Form」に「申請中の奨学金」欄や「奨学金受給歴」欄に必ず記入して下さい。  <b>Application documents can be filled in English.</b>	
応募書類提出先	<a href="mailto:eng-mon@grp.tohoku.ac.jp">eng-mon@grp.tohoku.ac.jp</a> 工学研究科教務課国際交流係 (すべてデータで提出)	
提出期限	2026 年 7 月 22 日 (水)	

# KDDI 財団 2027 年度助成募集要項

## 外国人留学助成

■ 申請書類受付期間

2026 年 8 月 3 日（月）～ 8 月 17 日（月）17：00

■ 内定通知

2027 年 1 月

■ 決定通知

2027 年 3 月

## 1 申込資格

- (1) 対象国籍に該当する者  
対象国籍は P5 参照
- (2) 在留資格「留学」を有する者
- (3) 2027 年 4 月 1 日現在 35 才以下である者
- (4) **申込時および助成期間中を通し**、当財団が推薦を依頼する大学院（指定校）の修士課程または博士課程に正規学生として在籍する者。

## 2 研究内容

法律、政治、経済、社会、文化、技術、医療の各分野において、情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究

## 3 助成内容

- (1) 対象人数  
8 名程度。1 人の指導教授からの推薦は 1 名まで、1 校からの推薦は 2 名まで。
- (2) 開始時期  
2027 年 4 月 1 日
- (3) 助成期間  
6 ヶ月または 12 ヶ月
- (4) 助成金額  
10 万円（月額）
  - ・学費、生活費の一部として活用、返済義務は負わない
  - ・他奨学金との併給可。ただし、月額合計が上記の額を超えないよう調整（併給を受ける他の機関からの奨学金詳細については該当欄に記述。大学からの奨学金は調整対象外だが、該当欄には記入。）
  - ・手続の都合により、4 月分の奨学金は、2 か月分を合算して 5 月に支給する場合がある。
- (5) 報告義務  
以下を助成申請システムより提出（アップロード）、報告書フォーマットは助成支援システムよりダウンロード。報告を怠った場合、助成金の返納を求める場合がある。
  - ・助成終了時（1 ヶ月以内）に「Final Report」

## 事務手続き

### 1. 応募方法

「助成申請システム」より応募

\*大学担当者がシステムに入力。

### 2. 提出書類

#### (1) 学生

① Application Form 1 (大学担当者が助成申請システムに入力する際の元データとして利用)

② Application Form 2

③ 指導教授の推薦書

#### (2) 大学担当者

学生が記入した①を元に、助成申請システムへ入力(①は提出不要)

②～③(※)の書類(PDF)と「大学からの推薦書(学長もしくは学部長名)」(PDF)を助成申請システムより提出(アップロード)。

\*アップロードする書類はA4サイズに限る、記述は各欄枠内に収まっていること(サイズ違い、欄変形により助成申請システムで読み取れない場合は**審査対象外**となることもある)

### 3 内定

内定は書類審査を経て、2027年1月頃に大学窓口担当へ通知。

### 4 決定

2027年3月開催の理事会にて決定。

### 5 辞退

審査中、内定通知後にかかわらず、辞退する場合は、速やかに事務局に申し出ること。

\*審査の経過、および内容についての問い合わせは受け付けない。

\*本プログラム指定期間内に留学を開始できない場合には助成を取り消す。

(※) 2026年6月26日訂正 対象範囲の記載に誤りがございました。

(正) ②～③ (誤) ②～⑥

1 助成の停止、取消等

下記事項のいずれかに該当する場合は、助成の取消、助成金の返納を求める場合がある。

- ① 受給資格を喪失した場合（諸事情による研究の継続困難、日本での研究継続困難、申請内容の虚偽、一方的な変更を行った場合など）
- ② 受給者に人権侵害、環境への配慮を欠く等、社会に反する行為が認められた場合
- ③ その他当財団の助成の趣旨に反する場合

2 個人情報の保護と情報の開示について

個人情報については法律および当財団の内部規程に則り、適切な取り扱いを行う。

ただし、助成対象者の情報は原則として公開とし、当財団で発行する広報誌に掲載する。

(5) 当財団審査委員一覧は、[ウェブサイト](#)に掲載。

以上

【問い合わせ先】

公益財団法人KDDI財団 助成事業事務局

〒102-8460

東京都千代田区飯田橋3-10-10 ガーデンエアタワー

email : [grant \(◆\) kddi-foundation.or.jp](mailto:grant(◆)kddi-foundation.or.jp)

\* (◆) は@に変換してください。

## 対象国籍

### ■ アジア地域

インド共和国、インドネシア共和国、カンボジア王国、スリランカ民主社会主義共和国、タイ王国、ネパール、パキスタン・イスラム共和国、バングラデシュ人民共和国、東ティモール民主共和国、フィリピン共和国、ブータン王国、ブルネイ・ダルサマール国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、モルディブ共和国、モンゴル国、ラオス人民民主共和国

### ■ 中東地域

アフガニスタン・イスラム共和国、アラブ首長国連邦、イエメン共和国、イスラエル国、イラク共和国、イラン・イスラム共和国、オマーン国、カタール国、クウェート国、サウジアラビア王国、シリア・アラブ共和国、トルコ共和国、バーレーン王国、ヨルダン、レバノン共和国、パレスチナ

### ■ 太平洋州地域

キリバス共和国、クック諸島、サモア独立国、ソロモン諸島、ツバル、トンガ王国、ナウル共和国、ニウエ、バヌアツ共和国、パプアニューギニア独立国、パラオ共和国、フィジー共和国、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦

### ■ 欧州地域

アゼルバイジャン共和国、アルバニア共和国、アルメニア共和国、アンドラ公国、ウクライナ、ウズベキスタン共和国、エストニア共和国、カザフスタン共和国、キプロス共和国、ギリシャ共和国、キルギス共和国、クロアチア共和国、コソボ共和国、サンマリノ共和国、ジョージア、スロバキア共和国、スロベニア共和国、セルビア共和国、タジキスタン共和国、チェコ共和国、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア共和国、ベラルーシ共和国、ポーランド共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア共和国、マルタ共和国、モルドバ共和国、モンテネグロ、ラトビア共和国、リトアニア共和国、リヒテンシュタイン公国、ルーマニア

### ■ アフリカ地域全諸国

### ■ 中南米地域全諸国

\* 地域、国については[外務省ホームページ](#)に基づく情報

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

## —奨学金申請時の心得について—

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2026.04.01

### 1. 申請の前に

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

### 2. 申請前チェックリスト

#### 手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

#### 手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

また、本学の推薦を経て採用された後に、他の奨学金への申請等を理由として辞退することは認められません。財団からの信頼を損なうのみならず、次年度以降の推薦枠の減少を招くなど、本学全体に不利益を及ぼす可能性があることを十分に自覚したうえで申請してください。

学籍番号:

氏 名:

---

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

## 私費外国人留学生身上調書

### 1. 身分・名前等

身 分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL
氏 名	(漢字 )			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍	
東北大学 入学前の 在籍大学				年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間		
		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
	年 月 ~ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所 )			

### 2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

\*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏 名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

\*

## 家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

### 家計状況

\* 2025年4月から2026年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 2025年10月入学の場合は2025年10月から2026年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他( )	円	その他( )	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

-----

-----

-----

### 奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

\* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

\* この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○○奨学金)

--

### 授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

2026	前期	申請中	申請なし			
2025	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった

## 別紙

### 成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）